

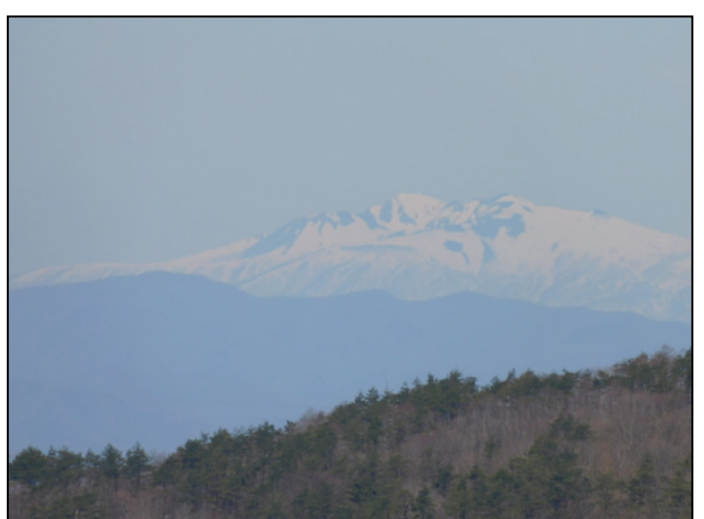
旧五輪街道開通しました！ 五輪峠～上大内沢

山崎

5月1日午後、7名のご協力を得て、倒木等で通行できなかった旧五輪街道が整備され歩けるようになりました。倒木も40本程あり、笹も伸び放題で処理に苦労しましたが、無事歩けるようになりました。この峠は伊達藩と南部藩の藩境でもあり、戦いはもちろん、交易の重要な峠でもありました。遠野で馬を買い、峠越えをする人々で賑わったところでもあり、峠の麓「上大内沢」には番所もあり、酒屋やうどんや等もありました。屋号も今尚「酒屋」「おどや(うどんや)」として残っています。この旧五輪街道は、坂本龍馬の従兄弟澤邊琢磨、俳人河東碧梧桐、宮沢賢治、柳田國男、佐々木喜善等も越えた峠でもあります。峠から市道まで40分ほどかかりますが、今山桜、こぶしの花、カタクリの花が見頃です。狐狸穴熊はもちろん、熊も出ますが、熊にはご注意ください！

尚、高齢者にとって下りてまた上るのは大変だと思います。私に時間がある時は、車で上大内沢から峠までお送りしますので、右記にご連絡ください。(TEL 090-5597-2340 山崎)

※五輪街道は県道147号線。昭和31年に江刺―遠野道が完成。かつては江刺―遠野のバスも通っていました。



「春の修羅」を読み始めたものの未消化状態、賢治の知識の多さ、語彙力に感服。私の能力では読み解くこと、感ずることすらできない自分に、それならせめて、自分と同じような人のために漢字などの解説をし、読み解くお手伝いをほんの少しだけしようと思いました。余計なことかもしれませんが、努力して見ます。但し、漢和辞典等で調べ、自分なりの解釈ですので悪しからず。詩は感ずるものというけれど……

山崎

『晴天恣意』①(下書き稿(二) 手入れ) 春と修羅第二集 一九二四・三・二五

つめたくうららかな蒼穹のはて
五輪峠の上のあたりに
白く巨きな仏頂体が立ちますと
数字につかれたわたくしの眼は
ひとたびそれを異の空間の
高貴な塔とも愕ろきますが
ひつきょう
畢竟あれは水と空気の散乱系
冬には稀な高くまばゆい積雲です
とは云えそれは再考すれば
やはり同じい大塔婆
いたゞき八千尺にも充ちる
光厳浄の構成です
あの天末の青らむま下
きらゝに氷と雪とをよろ鎧ひ
樹や石塚の数もち
石灰、粘板、砂岩の層と、
花崗斑糲、蛇紋の諸岩、
固く結んだ準平原は、
まこと地輪の外ならず、
水風輪は云わずもあれ、
白くまばゆい光と熱、
電、磁、その他の勢力は
アレニウスをば俟たずして
たれか火輪をうたがはん
もし空輪を云ふべくば
これらを総じて真空の
その顕現を超えませぬ
かく
斯くてひとたびこの構成は



五輪峠からふもとの大内沢に下りる階段



こぶしの花咲く大内沢から五輪峠



旧五輪街道を下りて 上大内沢へ

五輪の塔と称すべく
秘奥は更に二義あつて
いまはその名もはゞかるべき
高貴の塔でありますので
もしも誰かゞその樹を伐り
あるひは塚をはたけにひらき
乃至^{ないし}はそこらであんまりひどくイリスの花をとりますと（乃至＝あるいは）
かういふ青く無風の日なか
見掛けはしづかに盛りあげられた
あの玉髓の八雲のなかに
夢幻に人は連れ行かれ
見えない数個の手によって
かゞやく空にまっさかさまにつるされて
槍でつぶつぶ刺されたり
頭や胸を圧（お）し潰されて
醒めてははげしい病気になると
さうひとびとはいまも信じて恐れます
さてそのことはとにかくに
雲量計の横線を
ひるの十四の星も^き截り
アンドロメダの連星も
しづかに過ぎるとおもはれる
そんなにもうるほひかゞやく
碧瑠璃の天でありますので
いまやわたくしのまなこも冴え
ふたゝび陰気な扉（ドア）を排して
あのくしゃくしゃの数字の前に
かゞみ込もうとしますのです



五輪峠から北上平野を 奥羽山脈を



旧水沢緯度観測所
（奥州宇宙遊学館）

蒼空＝大空 仏頂体＝仏の頭の頂
畢竟＝結局 アレニウス＝電離説を提唱したスウェーデンの科学者。
アンドロメダの連星＝双子星とも呼ばれ、妹トシとのことなのではないでしょうか

「晴天恣意」② (水沢臨時緯度観測所にて) 一九二四、三、二五

つめたくうららかな蒼穹のはて、
種山ヶ原の右肩のあたりに、
白く巨きな仏頂状の
円錐体が立ちますと
数字につかれたわたくしの眼は、
ひとたびそれを異の空間の、
秘密な塔とも愕きますが、
畢竟あれは
まばゆい霧の散乱体
空気と水の二相系、
希なる冬の積雲です、
とは云えそれは
誰にとってもとも云えませぬ
あの天末の青らむま下
きららに氷と雪とを鎧ふ
古生山地の峰や尾根
盆地やすべての谷々には
おのおのにみな由緒ある樹や石塚あり
めいめいに何か鬼神が棲むと伝へられ
もしもみだりにその樹を伐り
あるひは塚を畑にひらき
乃至はそこらであんまりひどく
 イリスの花をとりますと
さてもかういふ無風の日中
見掛けはしづかに盛りあげられた
あの玉髓の八雲のなかに
夢幻に人はつれ行かれ
かゞやくそらにまっさかさまにつるされて
見えない数個の手によって
槍でつぶつぶ刺されたり
おしひしがれたりするのだと
さうあすこでは云ふのです。



現代の仏頂状か？ 失礼！

物見山のアメダス



いつの頃からかケルンが



東菊が咲き始めました

さて天頂儀の蜘蛛線を
ひるの十四の星も截り、
わたくしの夏の恋人、

あの連星もしづかに過ぎると思はれる
碧瑠璃のてんであります
いまやわたくしのまなこも冴え
熱した頬もさめまして
ふたゝび暗いドアを排して
数字の前にまた身を屈するつもりです

「春と修羅」「序」

わたくしという現象は
仮定された有機交流伝統の
ひとつの青い照明です

(あらゆる透明な幽霊の複合体)
風景やみんなといっしょに
せはしくせはしく明滅しながら
いかにもたしかにとりつづける
因果交流電燈の
ひとつの青い照明です
(ひかりはたもち その電燈は失はれ)

これらは二十二ヶ月の
過去とかんずる方角から
紙と鉋質インクをつらね
(すべてわたくしと明滅し
みんなが同時に感ずるもの)
ここまでのもちつづけられた
かげとひかりのひとくさりづつ
そのとほりの心象スケッチです
(略)

すべてこれらの命題は
心象や時間それ自身の性質として
第四次延長のなかで主張されます



雪雲迫る中 阿修羅は種山ヶ原に



かわいい山野草 筆リンドウ？
賢治の森に咲いています



人首町のアンジェラスの鐘

※第四次＝三次元に時間という要素が組み入れられる

「詩」ではなく、「心象のスケッチ」

宮沢賢治は、「序」の中でも言っているように、自分の作品を「心象のスケッチ」だと言う。親交の深かった森荘巳池(本名佐一)氏への下の書簡においても

(前略)前に私の自費で出版した「春と修羅」も、亦それからあと只今まで書き付けてあるものも、これらはみんな到底詩ではありません。私がこれから、何とかして完成したいと思って居ります、或る心理学的な仕事の支度に、正当な勉強の許されない間、境遇の許す限り、機会のある度毎に、いろいろな条件の下で書き取って置く、ほんの粗硬な心象のスケッチでしかありません。

と宮沢賢治は自分が目指した「心象スケッチ」について話しています。
ある評論家は次のように話している。

「賢治は従来の『詩』の枠内に、自らをおさめていくことを欲しなかったのでしょう。既存のジャンルを超え、新たなものを作りたいという野心と気概のもとに作られたのが『春と修羅』であった。」と。

「修羅」って何？

- ① 阿修羅の略 ② 醜い争いや果てしない闘い。また激しい感情のあらわれ。
- ③ 大石や大木を運搬する道具。大きいものを運ぶそりの一種。

※仏教では

①六道の一つ

三善道 ・天道

・人間道

・修羅道 (常に闘う心を持ち、その精神的な境涯・状態の者が住む世界)

三悪道 ・畜生道

・餓鬼道

・地獄道

※賢治が信仰した法華経では、阿修羅は悪としてかけられることはほとんどなく、三善道の一つなんですね。

宮沢賢治作品の原点の一つは、賢治の母・イチの言葉「人というものは、人のために何かしてあげるために生まれてきたのす」ではないのだろうか？
私たちもこうありたいものですね。

「人首にも春が来た」桜 人首町・八幡・荒町・荒田表・小沢



八幡様



人首町・檀ヶ丘



新町橋から



檀ヶ丘



人首小学校の桜の古木



人首川沿いの桜 小さく通称「トーハ」の水門



人首カトリック教会の桜



グランド下の山桜の大木

大内沢・北新田・大谷地・笹ノ田・学間沢・五輪



種蒔桜 上大内沢



大谷地堤の桜



笹ノ田産直所周辺の桜並木 ドローンで



糠森山の山桜



グランドの桜 月水金はお年寄りがゴルフで楽しむ



五輪街道の桜の古木 人首城の家臣東海林さんが植樹

中郡・中沢・戸中・山大畑



中郡の山桜

中沢の桜並木

中山間事業で

右は麓山神社の春



木細工・二又・烏山神社



木細工の春

下 烏神様の桜



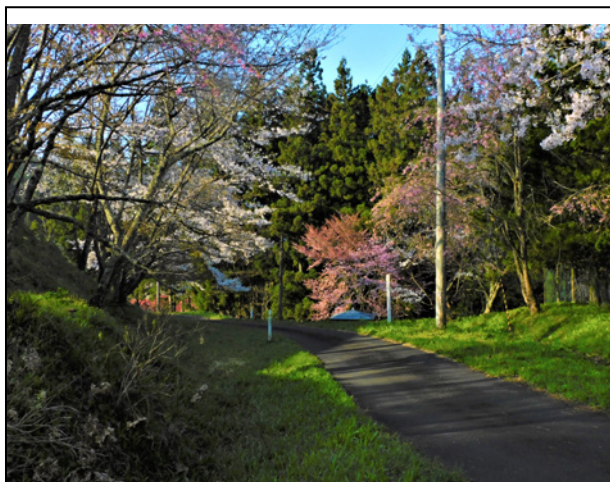
旧木細工小学校「風の又三郎」のロケ



古館・鶴城・城内・館山・馬場・兄和田



古館の桜 やがて紫陽花が



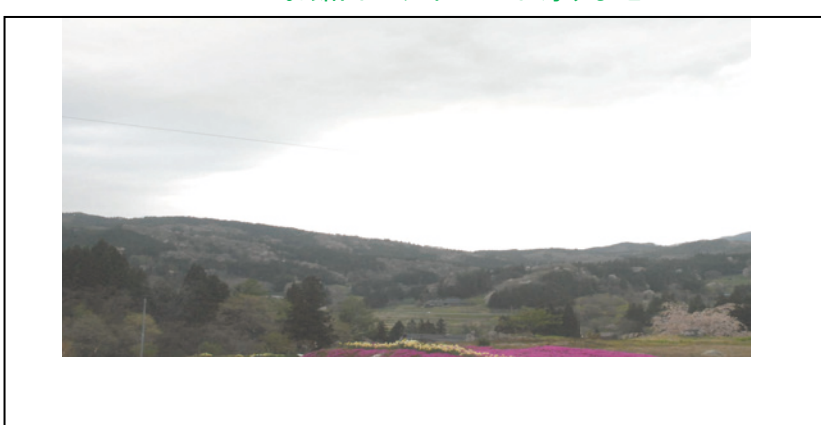
お館山の入口



佐伯邸の桜



お館山 サイレンは鳴りません

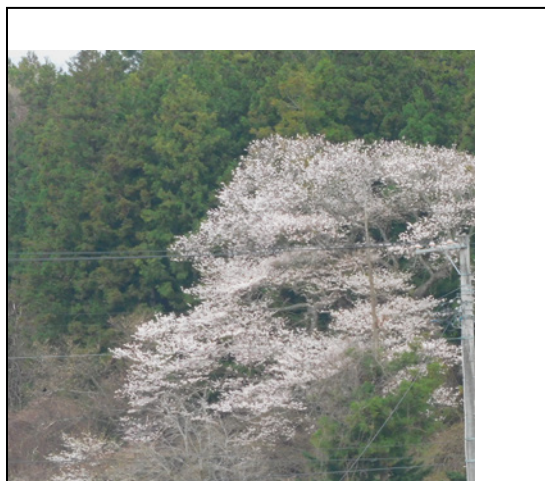


河東碧梧桐の句碑「人首と書いて何と読む寒さかな」

芝桜

下左夜の佐伯邸桜

福泉寺桜



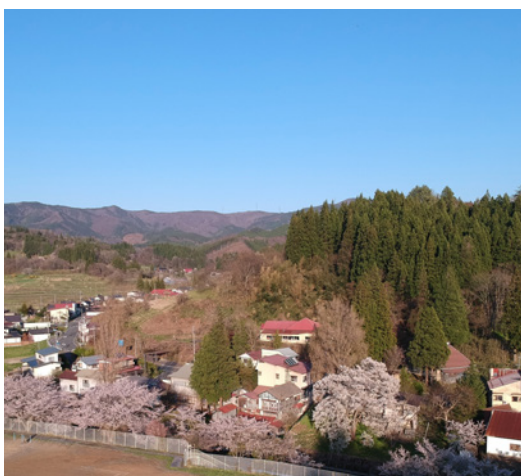
立石・北野・下川辺・砂子沢



北野種蒔桜



砂子沢の春



人首小学校周辺の桜(千田強さんドローンで撮影)



下川辺・砂子沢種蒔桜

米里のウコン桜(本小路 菊池詔二宅)



カモシカ のこども



5月20日の「種山ヶ原」物見山・星座の森 東菊が咲き始めました



大



物見山



アメダス



風の又三郎像 星座の森



去年のスーパームーンと菜の花畑

『星の楽校』から

今年のスーパームーンは5月26日です。
皆既月食もあり、赤い月の出現です。
晴れて欲しいですね！



先日賢治の森の近くで後ろ足を怪我している1歳位の
「モシカ」を見ました。

「長って生きて欲しい。」



星座の森のキャビン